

## セネガル国劣化土壌地域における土地劣化抑制・有効利用促進のための能力向上プロジェクト

(実施期間：2011年3月～2016年3月：担当業務劣化土壌対策2/村落開発1)

### 業務背景

セネガル国では、生産性の低い裸地や草地(酸性硫酸塩土壌(タン))の拡大や灌漑農地における塩害(灌漑による塩類集積)、そして疲弊(落花生盆地の過剰単一栽培や過放牧など)が大きな土壌劣化問題となっている。本プロジェクトが対象とするファティック州及びカオラック州も、酸性硫酸塩土壌と内陸部耕作地の土地の疲弊という2つの大きな土壌劣化問題を抱えており、耕作地や林地の減少、単位面積あたりの穀物等の収穫量減少が続いている事から、土地の有効利用ができていなく、特に人口増加を抱える両州においては、村落住民の生活に多大なる影響を及ぼしている。

本プロジェクトにおいては、土地の劣化抑制や有効利用を促進するために核となる人材の能力向上を図ることを目的に、同国の環境・持続開発省水・森林・狩猟及び土壌保全局などの職員に対して、土地の劣化抑制・有効利用促進のために必要な能力(土壌劣化を防ぐ技術に加え、その技術を他の村落等に普及する技術を含む)向上を支援し、土壌劣化の進む当該地域における自然資源の適切な管理活動の実施を目指した。

### 業務概要

土地劣化抑制・有効利用促進対策を行なう優先地域を明らかにし、土地劣化抑制・有効利用促進のために必要な技術が改良・開発する。また、パイロットプロジェクトの実施を通じ、土地劣化抑制・有効利用促進に有効な技術・対策を明らかにする。最終的に優先地域において、住民の啓発と土地劣化抑制・有効利用促進対策を普及するための体制が準備されることを目指し、これらに関する活動を行った。

### 担当事項

- 等高線および混植栽培による水食防止型栽培技術改善の普及
- 主に女性グループを対象とした耕種法改善による土壌劣化防止・肥沃度向上を目指した野菜栽培
- 穀物栽培圃場での列状休閑帯導入による風食防止型栽培法の適応可能性調査
- 現地適応型の堆肥製造施設の設置、家畜糞、作物/生活残渣などの地域資源を利用した堆肥製造
- 上記技術の普及を目指したセミナー/バスツアー実施と技術マニュアルの作成



改良型堆肥製造施設



ニエベとトウモロコシ混植栽培



女性グループを指導する農業普及員



バスツアーによる活動地での見学会